



2015年12月3日
日本全薬工業株式会社

ベトキノールとゼノアックが合弁会社設立契約を締結

Vetoquinol（以下、ベトキノール）と日本全薬工業株式会社（以下、ゼノアック）は本日、合弁会社の設立に関する契約を締結したことをお伝えいたします。本合弁会社は日本における動物用医薬品等関連製品の開発、登録および販売を行います。

本合弁会社は、ゼノアックの本社敷地内にオフィスを置き、名称をベトキノール・ゼノアック株式会社とし、ベトキノールの世界基準の製品群から選ばれたコンパニオンアニマル製品にフォーカスします。必要な販売承認等を得たのち、ゼノアックがその圧倒的な営業員数と強大な販売網でそれらの製品を独占的に販売してゆきます。

ベトキノールの CEO である **Matthieu Frechin** は「この日本の同族経営企業との長期的なパートナーシップは世界の動物用医薬品等市場で10位以内に入る企業である我々の日本でのプレゼンスを高めるでしょう。他のディストリビューターとの既存の販売契約はそのまま継続する一方、我々の合弁会社は最も画期的なコンパニオンアニマル向けヘルスソリューションを日本に送り出すことが可能になります」と述べています。

ゼノアックの会長である福井邦顕は「ベトキノールとのこの連携はゼノアックのコンパニオンアニマル製品群を完全なものにし、日本の動物病院へ包括的で最良な製品群を提供することが可能になる」と述べています。

ベトキノール・ゼノアック株式会社は設立に必要な準備が整い次第、2016年の1月より業務を開始する予定です。



ベトキノール

ベトキノールは動物用医薬品の分野における世界的なリーディングカンパニーです。家畜（牛、豚）およびペット（犬、猫）市場へ製品を提供しています。また、独立した動物用医薬品製造販売専門メーカーとして、ベトキノールはヨーロッパ、アメリカ、アジア太平洋の国々で動物薬、及び非動物薬製品の研究、開発、販売を行っています。

1933年の設立以来、ベトキノールは革新と地理的な多角化の融合という戦略を追求しています。グループの相乗的な発展は、成長のポテンシャルが高い市場における企業合併に伴う製品群の強化によるものです。ベトキノールは 2,024名の社員を有し、2006年から NYSE Euronext Paris に上場しています（銘柄コード：VETO）。

さらに詳しい情報はウェブサイトをご覧ください。 www.vetoquinol.com
次回ウェブサイト更新予定：2016年1月21日にベトキノール2015年通期売上を更新予定です（決算処理後）。

ゼノアック

ゼノアックは 1946年に設立された日本における動物用医薬品市場のリーディングカンパニーです。約 700名の社員を有し、年商 242億円（2014年度）、動物用医薬品の研究開発、製造、輸入を行い、産業動物およびコンパニオンアニマル向けの製品ラインナップを充実させております。またゼノアックは、福島を拠点に日本国内に幅広い販売網を持ち、他社にはない直販体制を取っています。コンパニオンアニマルの画期的な製品群拡大に注力しており、2014年6月にはイエダニ起因の犬アトピー性皮膚炎に対する減感作治療薬であるアレルミューン HDM を発売しました。ゼノアックのビジネスパートナーには、メリアル・ジャパン(株)、アイデックス ラボラトリーズ(株)、インターベット、DSM ニュートリションジャパン(株)、日本イーライリリー(株)、マース ジャパン リミテッド、などがあります。

※ この資料は英文プレスリリースの翻訳版として提供させていただくものです。正式言語は英語であり、表現や内容につきましては英語が優先されます。英文版プレスリリースは、下記 URL よりご参照下さい。

<http://www.zenoaq.jp/english/index.html>